稲倉小学校・５年　単元名『稲倉をよりよい町に』の流れ（探究過程）と活動の実際　　担当【藤原　光利】

◆**単元のねらい**「地域を支えている人たちと出逢うことを通して，働く人の思いや願いを理解し，稲倉をより良くしていくために自分たちにできることを考え，実践する態度を育てる。」

課題設定

公民館長の井上さんをお招きして，話を聞く。

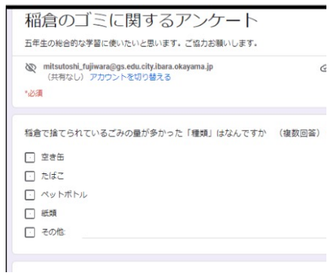
児玉商店の児玉さんをお招きして，話を聞く。

地域を支えている人と出逢い，稲倉の良い点や課題点，どんな町にしていきたいかという思いを知る。

「稲倉をこんな町にしたい」という目標を，グループごとに設定する。

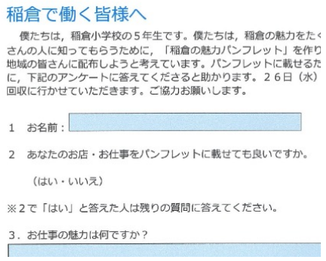
グループ１
「ごみのないきれいな町にしたい。」
グループ２
「耕作放棄地に花を植え，きれいな稲倉小学校にしたい。」
グループ３
「稲倉の魅力をたくさんの人に伝えたい。」

情報収集



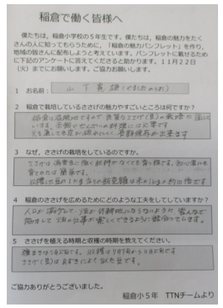
Formでアンケートを作成，３年生以上にごみの多かった場所を調査。（グループ１）

公民館長さんに，今の時期に適している花や花の植え方を教えてもらう。（グループ２）



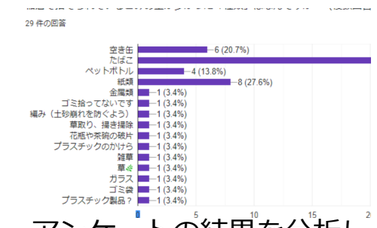
電話で追加の質問をする。（グループ３）

アンケートを作成し，仕事の魅力や工夫していることをたずねる。（グループ３）



下書きをそれぞれのお店の方などに確認してもらい，文章表現などについて再考。（グループ３）

整理・分析



アンケートの結果を分析し，地域の人とのごみ拾い計画を立てる。（グループ１）

ごみ拾い後の結果から，ポイ捨てが多かったことに気付き，ポイ捨て防止の取り組みを調べる。（グループ１）

花を買うために，稲倉の朝市で出店の計画。どんな商品が売れるか，金額をいくらにすると目標額に届くか考える。（グループ２）

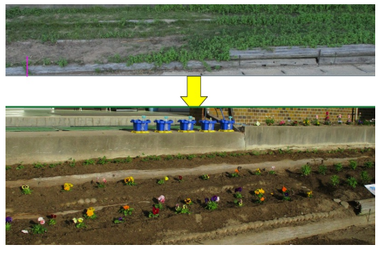
地域の方と相談しながら，商品と価格を決定。（グループ２）

まとめ・表現

チラシを作成しごみ拾いの参加を呼び掛ける。（グループ１）

「ポイ捨て防止鳥居」を作成し，ポイ捨てが多かった場所へ設置，ごみ拾いの結果をまとめ地域の人たちに配布。（グループ１）

朝市で販売をしながら，地域の人たちに自分たちの思いを伝える（グループ２）



耕作放棄地に花を植え，地域の方に見に来てくださるよう「お知らせ君」で呼びかける。（グループ２）

パンフレットを作成。（グループ３）

パンレットを公民館に置き，「お知らせ君」で地域の方へ呼び掛ける。

◆**成果（○）・課題（△）・来年度に向けて（☆）**

○課題設定で，地域の方に話をしていただいたのはとても良かった。特に，課題点について触れていただいたおかげで，自分たちの目標が明確になった。
○３つのグループに分かれることで，子供たちの一人一人の活躍の場が増え，達成感を味わうことができたり，稲倉のために頑張りたいという思いを高めたりすることができた。
△児童の実践を続けたいという気持ちを汲んため，当初の予定時間を超え，３学期までかかった。３学期は慌ただしいため，２学期までに終わらせられると良い。
☆地域の人たちとの関わりをさらに増やし，地域の方と一緒に取組を進めて行きたい。